

NO:63.9 形式 : Z-1S ビクター (VICTOR) 日本ビクター (株)



- ① MM、② 10 ~ 25,000Hz、③ 3mV、④ 0.5mil、⑤ 5.5 g (実測)、⑥ 1.5 ~ 2.0g ⑦、⑧ 47-100、⑨、⑩ (pF)、
⑪ 25 (dB,1kHz)、⑫、⑬ 10、⑭、⑮、⑯ 1975 以前、⑰、⑱、⑲ SG '75

コメント : 1.7g で試聴したところ明るい明瞭度の良い、4CH にも対応するような広い音域の音を感じた。針先は接合された 0.5mil 丸針です。よく似ている形式の Z-1E カートリッジは楕円です。

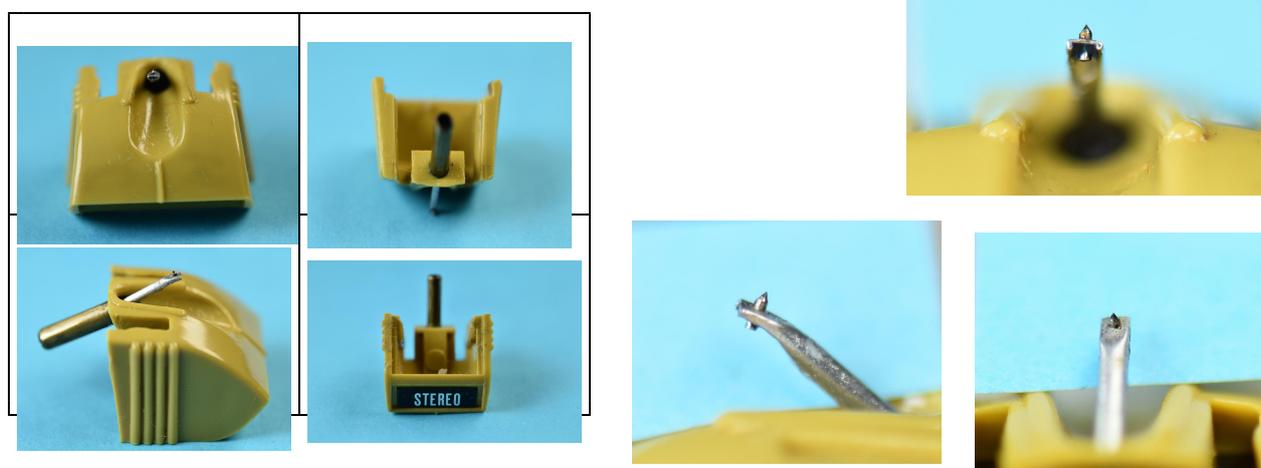
本製品はビクターのレコードプレーヤー JL-A25M 他多数の高級プレーヤーに装備されていた、主力カートリッジです。

NO:63.10 形式 : DT-33H (MD-1016 用) ビクター (VICTOR) 日本ビクター (株)

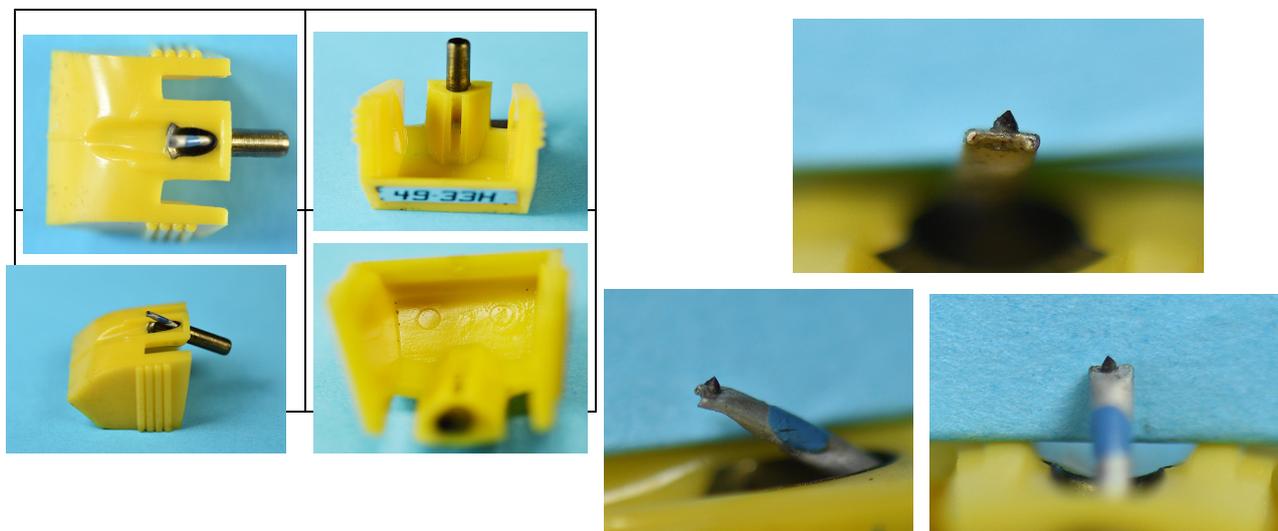
東京宝石製、0.3x0.7mil、出力電圧 5mV、楕円針



東京宝石製、出力電圧 4mV、楕円針



ナガオカ製、0.3x0.7mil、出力電圧 6mV、楕円針



交換針は東京宝石 (サント・ジュエル)、JICO、NAGAOKA (MUKU)、KOWA、DIA (東京蓄針) などで発売。33H は楕円針、黄色系ですが黄色、黄土色などもある。カンチレバー内の磁石の強さを方位計の振れで調べたら、ナガオカは 2 倍の強さ、又、カンチレバ先端と針先までの長さは 11mm で東京宝石製の 13mm より短い。

音は歯切れの良い、滑らかな聞きやすい音です。低音は少なめの締まった音です。黄土色は針先形状が異なるためか、少し歯切れが割るく、低音も少なめです。

NO:63.11 形式 : DT-33S (MD-1016 用) ビクター (VICTOR) 日本ビクター (株)

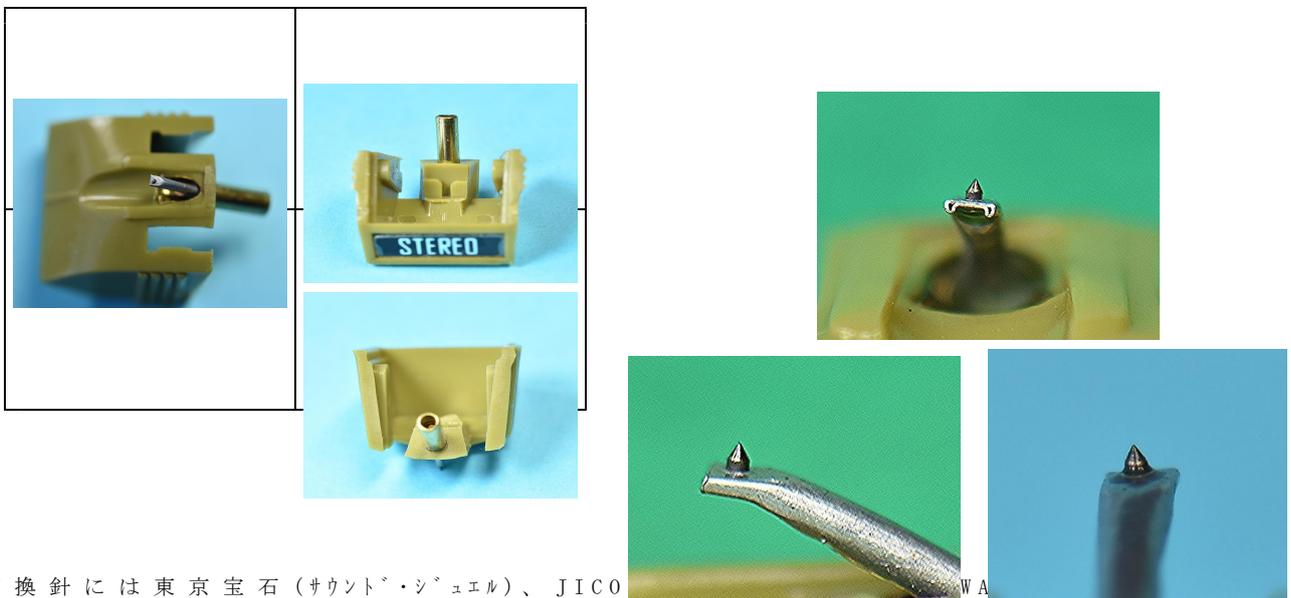
東京宝石製製、0.5mil、出力電圧 4mV、接合



? 製、0.5mil、出力電圧 5mV、接合

予定	予定
予定	予定

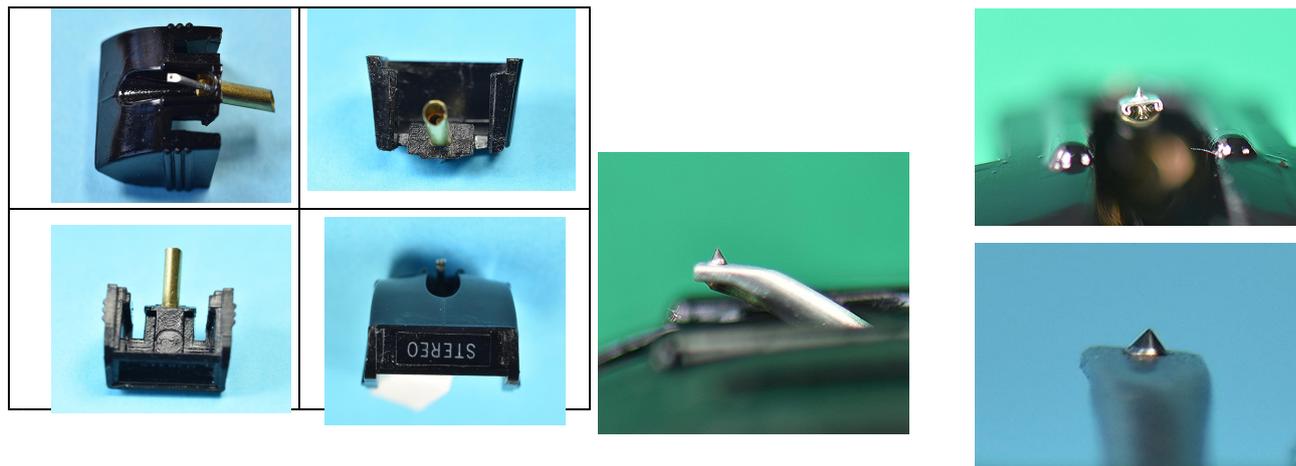
ナガオカ製、0.5mil、出力電圧 5mV、接合丸針



交換針には東京宝石 (サウンド・ジュエル)、JICO など で発売されております。33S は接合円針が多い、黄緑色系です。Victor のプレーヤーに使用されていたとステレオガイドに記載されています。ナガオカ製スタイラスは磁石の強さが方位計で調査したら東京宝石より 30% アップですが、カンチハバから針先までの長さは 11mm で東京宝石製の 13mm より短い。試聴したところ明瞭感のある軽快で美しい音です。低音も良い音です。

NO:63.12 形式 : DT-33G (MD-1016 用) ビクター (VICTOR) 日本ビクター (株)

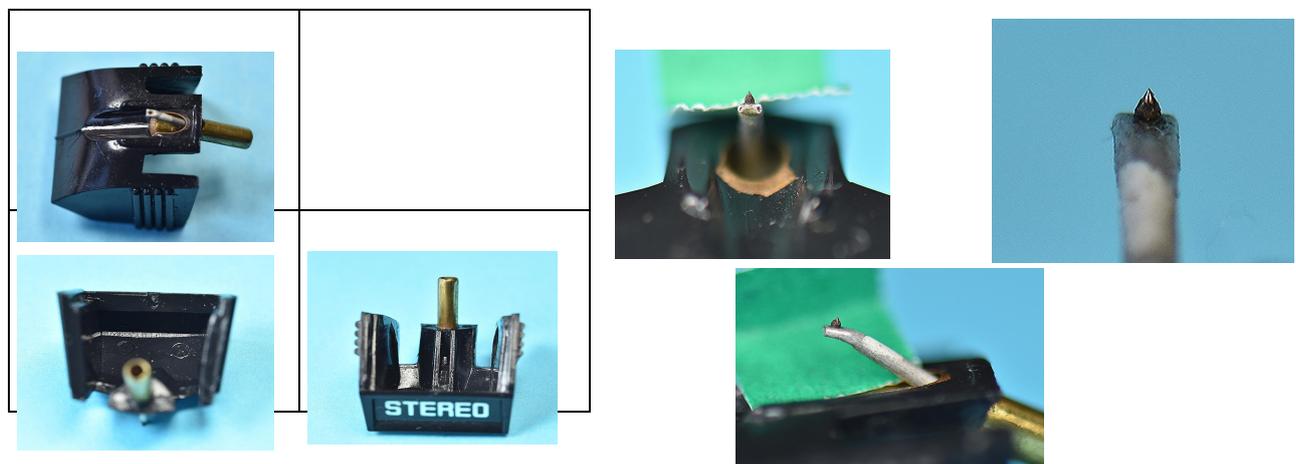
東京宝石製、0.5mil、出力電圧 5mV、楕円



JICO 製、0.5mil、出力電圧 4mV、接合丸針



ナガオカ製、0.5mil、出力電圧 3mV、接合楕円



交換針は東京宝石 (サウンド・ジュエル)、JICO、NAGAOKA (MUKU)、KOWA、DIA (東京蓄針) などで発売されております。33G は黒色、接合型です。東京宝石製は側面の溝数が 3 本、磁石の NS の方向が他のスタイラスと反対で逆振れします。又、カンチレバーの先端が斜めカットされています。JICO とナガオカの磁力は方位計で調査したら東京宝石製の半分です。スタイラスと針先間はナガオカ 11mm、その他 13mm です。(東京宝石製には 33G の 4 本溝もあります。この針先間は 13mm、針振れ方向は正方向です。)

試聴したところ、東京宝石製はハギレ良し、明瞭感良し、低音良し、JICO 製及びナガオカ製は滑らかな聞きやすい音、低音少なめです。